令和7年度　高松市外郭団体　経営評価シート

1　団体情報

No.	9	種別	公益財団法人	団体名	高松市学校給食会		
所在地	香川県高松市朝日新町26番25号(高松市朝日新町学校給食センター)						
電話番号	087-823-7571			FAX番号	087-823-7573	所管部局	教育局 保健体育課
団体ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ	http://www.takamatsu-gk.jp/						
代表者職氏名	理事長　山田　士郎			設立年月日	昭和38年12月		
基本財産	10,000　千円			市出資等額(割合)	10,000　千円	（ 100.0% ）	
設立目的	高松市において学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、学校教育における食育の推進を支援することにより、子どもの心身の健全な発達並びに市民の豊かな食生活の実現に寄与する。						
事業概要	設立目的を達成するため、安心・安全な給食物資を低廉な価格で安定的に確保するとともに、地場産物や旬の食材、郷土料理等を献立に取り入れ、学校給食を通じて自然や地域の食文化などについて学べるよう策定した献立の材料調達に努めている。						
評価対象決算期	令和7年4月1日　～　令和8年3月31日						

2　組織の状況(4月1日現在)

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
役員数(非常勤含む)	8 人	8 人	8 人
うち市派遣(兼務含む)	2 人	2 人	2 人
うち市退職者	0 人	0 人	0 人
役員平均年間報酬	16　千円	19　千円	18　千円
職員数(非常勤含む)	5 人	5 人	5 人
うち市派遣(兼務含む)	0 人	0 人	0 人
うち市退職者	1 人	1 人	1 人
職員平均年間報酬	4,791　千円	4,598　千円	4,131　千円

3　主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和7年度事業費
公益目的事業	学校給食物資の安定的な調達・配給、学校給食を通じた食育推進、学校給食の普及充実・調査研究	人件費、事務費
給食費に関すること	・附属高松小及び保育所分の給食費徴収 ・市立小中学校分のR4までの未収金回収	人件費、事務費

4　市の財政的関与の状況

	令和7年度	令和6年度	令和5年度
補助金	34,306　千円	31,901　千円	30,270　千円
委託料	6,413　千円	6,035　千円	5,824　千円
うち指定管理料	0　千円	0　千円	0　千円
その他	2,132,253　千円	2,031,771　千円	1,974,089　千円

5　財務状況

①正味財産増減計算書

区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
経常収益	2,207,275　千円	2,116,151　千円	2,055,090　千円
経常費用	2,207,200　千円	2,115,146　千円	2,054,325　千円
当期経常増減額	75　千円	1,005　千円	765　千円
経常外収益	0　千円	0　千円	0　千円
経常外費用	0　千円	0　千円	0　千円
当期経常外増減額	0　千円	0　千円	0　千円
当期一般正味財産増減額	75　千円	1,005　千円	765　千円
当期特定正味財産増減額	0　千円	0　千円	0　千円
当期正味財産増減額合計	75　千円	1,005　千円	765　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

②貸借対照表

区　分		令和7年度	令和6年度	令和5年度
	流動資産	170,080　千円	154,622　千円	138,371　千円
	固定資産	29,901　千円	10,101　千円	21,967　千円
資産計		199,981　千円	164,722　千円	160,338　千円
	流動負債	158,261　千円	139,289　千円	137,177　千円
	固定負債	30,409　千円	14,195　千円	12,930　千円
負債計		188,670　千円	153,484　千円	150,107　千円
	指定正味財産	0　千円	0　千円	0　千円
	一般正味財産	11,312　千円	11,237　千円	10,231　千円
正味財産計		11,312　千円	11,237　千円	10,231　千円

※四捨五入の関係上、千単でずれる場合があります。

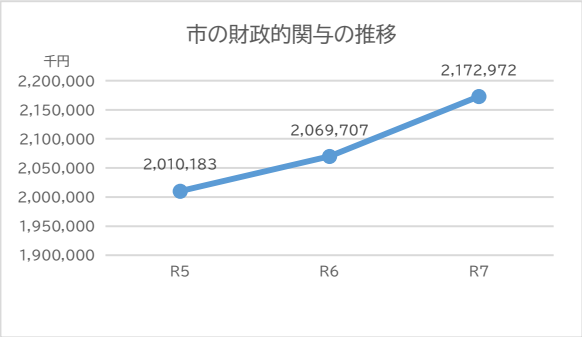
＜主な経営指標＞

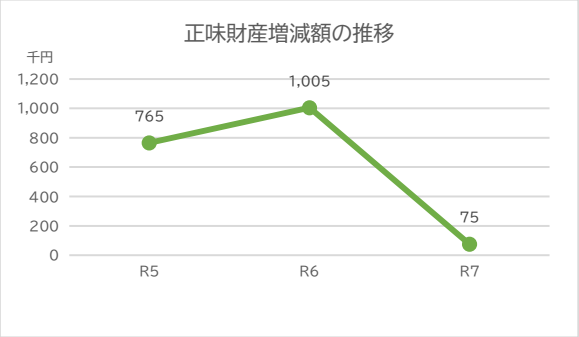
区　分	令和7年度	令和6年度	令和5年度
流動比率 （流動資産÷流動負債）	107.5　%	111.0　%	100.9　%
自己資本比率 （正味財産計÷負債・正味財産）	5.7　%	6.8　%	6.4　%

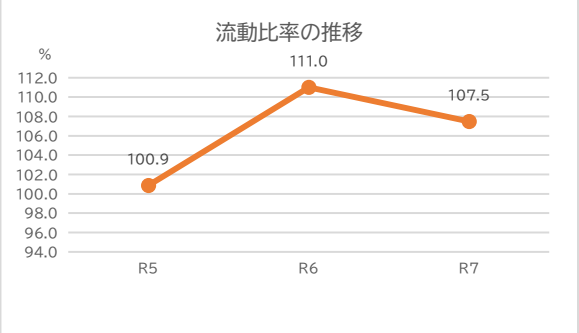
6　経営評価の総括

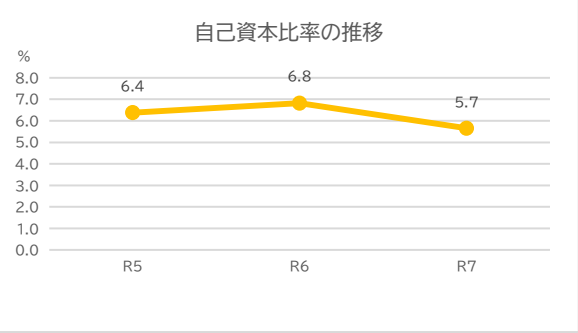
項　目	外郭団体による総括	所管課による評価
①公益的使命・市が期待する役割への対応	高松市において学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に務め、学校教育における食育の推進を支援することにより、子どもの心身の健全な発達並びに市民の豊かな食生活の実現に寄与することを目的としている。 高松市から学校給食用物資調達業務を受託し、適切に対応した。	令和5年度に学校給食費徴収・管理業務を公会計方式に移行した後も、団体の使命・役割に大きな変化はなく、市の受託者として、引続き、学校給食物資の安定的な調達等を円滑に行っている。
②業務・組織管理	公益事業として、献立委員会、物資購入委員会等を運営し、円滑に推進した。 法人事業として、法人の運営に要する会計、法務等を適切に実施した。	特に問題は見受けられない。
③財務状況	令和7年改正公益法人新会計基準において、退職給付引当資産(固定資産)が現金預金(流動資産)に、ソフトウエアが固定資産に、リース債務が流動負債及び固定負債にそれぞれ算入されたため、新基準に基づく流動比率を令和6年度と比較すると、令和6年度が111%、令和7年度が107．5%となり悪化した。 自己資本比率は、新会計基準に基づくリース債務の負債への算入により悪化した。	流動資産(主に未収金(食材費))と流動負債(主に未払金(食材費))がほぼ同額のため、流動比率は約100%となり、また、自己資本比率は、未払金が食数及び物価の変動により多少変動するのみであるため、財務状況は安定している。
④今後の方向性及び課題	本会の業務の主なものは、学校給食物資の調達である。 学校給食の食材の財源その他法人設置に要する予算は全て高松市であり、財政面で委託効果に疑問がある。 公会計化とともに直営化した自治体も相当数あることから、いまだに学校給食物資の調達を法人に委託する必要性がどの程度あるのかを検討する必要がある。	外部の組織による柔軟かつ機動的な対応には大きなメリットがあることから、現在のところ、業務委託の継続が適当と考えるが、今後も、本市の学校給食を取り巻く状況の変化を踏まえながら、適宜、在り方を検討したい。

【再掲】各指標の推移


市の財政的関与の推移
千円
2,200,000
2,150,000
2,100,000
2,050,000
2,000,000
1,950,000
1,900,000
2,010,183
2,069,707
2,172,972
R5
R6
R7


正味財産増減額の推移
千円
1,200
1,000
800
600
400
200
0
765
1,005
75
R5
R6
R7


流動比率の推移
%
112.0
110.0
108.0
106.0
104.0
102.0
100.0
98.0
96.0
94.0
100.9
111.0
107.5
R5
R6
R7


自己資本比率の推移
%
8.0
7.0
6.0
5.0
4.0
3.0
2.0
1.0
0.0
6.4
6.8
5.7
R5
R6
R7